

〈令和元年度版〉

写真で見る「木」の施設 (冊子)

WOODEN BUILDINGS EXPLAINED BY PHOTO

木造事例集 その34



木材利用推進中央協議会



基本情報

施主	西米良村	〒881-1411 宮崎県児湯郡西米良村大字村所15番地
設計者	株式会社 徳岡設計	〒530-0047 大阪府大阪北区西天満6丁目3-11-205
施工者	坂下・河野特定建設工事共同企業体	〒886-0004 宮崎県小林市細野391番地
主要構造	鉄骨造 鉄筋コンクリート造	
防火地域等区分	その他の区域	
耐火等の要件	耐火建築物	
延べ床面積	1,552.32㎡	
階数	地上4階	
単位面積コスト	253,136円/㎡	
木材使用量	53.15㎡	
活用した補助事業	防災・安全社会資本整備交付金	
主な使用樹種	スギ、ヒノキ	

西米良村役場庁舎

所在地 宮崎県児湯郡西米良村大字村所15番地

用途 庁舎

施設概要

主体構造の鉄骨造にCLTを地震時のみ考慮した構造計画とした庁舎。隣家が近接しており、必要な耐火性能を確保するため外壁はALC壁の外側にスギ板張りとした。木材の経年変化や劣化に考慮し建物の周囲にバルコニーを設け、日常的な点検・メンテナンスを自らで行える計画としている。施設は周囲を山林で囲まれており、勾配屋根や村産スギ材の外壁から木造建物のような外観とする事で村民にとって「みんなの家」として親しまれる庁舎となるよう計画した。



1 バルコニーの手摺には高耐久高熱処理を施した村産スギ材を活用している。／2 直接手や足が触れる場所に温熱変化の伝わりにくい木材を無垢材の形でふんだんに使用する事で快適性が増し、「木の香」や自然素材が醸し出す居心地の良さや落ち着き感などからリラックス効果も期待できる。／3 議場の家具や壁面には地元のスギ・ヒノキをふんだんに使用した。／4 CLTの建て方では、高い精度を要求されるため鉄骨とCLTの取付手順を密に検討しながら施工を行った。

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 (永田町ビル6F)

木材利用推進中央協議会

TEL (03) 3580-0335

FAX (03) 3580-3226